

予算審査特別委員会における各会派等の討論

市民クラブ

平成26年度一般会計予算および関連議案において、市民クラブは、

厳しい財政状況の中でも滝川市社会福祉事業団への事業移管、駅前広場整備事業等の着工、定住自立圏構想の推進など準備を進めてきた諸課題を着実に進めていく予算となったことを評価しました。さらに、環境、農業、商業、教育などの重要分野において期待できる事業が数多く盛り込まれたことから、すべての議案を可としました。

なお、歳入では、国の動向を的確に掴み、有利な財源確保に努力するとともに、市税収納率の目標達成に向けて全庁挙げて取り組むよう求めました。

歳出では、未来へつなぐ市民力推進事業補助金の市民へのPRに努めること、また、「日本で最も美しい村」連合への加盟に向けてさらなる支援を求めたほか、農家戸数を減らさないため、規模が小さく各種補助金等の対象とならない

農家への支援を検討されるよう要望しました。教育費では、少人数学級の拡大や学校図書館司書の配置について要望しました。

特別会計では、病院事業、国民健康保険、介護保険等においては、特定健診の受診率を高め医療費の負担軽減を目指す取り組みや、成年後見人制度の推進、老朽化した一部の医師住宅の民間活力の導入を基本とした改築などを評価します。また、国の制度が大きく変わることが予想される「第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」が現行を下回るのではないよう要望しました。

今年度から新設の土地区画整理事業では、コンパクトな都市づくりを支える交通体系の環状線として位置付けられた重要な幹線道路であり、地域発展のため重要と考えます。

健康で安心な市民生活に配慮した施策が予算化されていることから、全特別会計・企業会計予算と関連議案を可としました。

新 政 会

平成26年度一般会計予算および関連議案について、新政会は、アベノミクス効果が地方まで現れていない厳しい経済環境の中にあっても、滝川市総合計画の施策を推進するにあたり、当委員会に付託された予算および関連議案に若干の意見を付して可としました。

歳入では、市税の収納率の向上に努めるとともに滞納の解消に鋭意努力をしていただきたい。

歳出では、公共施設の利用拡大、遊休施設の整理を図りたい。民生費では、介護全般に細かな配慮をお願いしたい。衛生費では、ごみ処理施設の安全性・環境保全等に注視されたい。土木費では、公共事業等の地元企業への発注をなお一層促進されたい。農林業費では、農業者の負債対策や後継者育成対策に努力されたい。教育費では、温水プール無償譲渡後の支援をめぐる教育委員会への提案も中止という事態を招いた。まさに「外れ弾の八方的」です。今後は、契約書および付帯する

協定書等、誰でも理解できる確かな文言の使用を強く求めます。

5つの特別会計(国民健康保険、公営住宅事業、介護保険、後期高齢者医療、土地区画整理事業)と下水道事業会計および病院事業会計、関連議案についても若干の意見を付して可としました。

国民健康保険特別会計では、国民健康保険税の公平に努め、収納率の向上に努力されたい。

介護保険特別会計では、「第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定について、法改正を十分に把握していただきたい。

土地区画整理事業特別会計では、特別会計条例および泉町土地区画整理事業施行条例による効果的な運用を図り、スムーズな事業展開に努められたい。

病院事業会計では、病院の安定経営には地域の医療機関との連携強化とともに、医師・看護師の安定的かつ継続的な確保も不可欠なことから、職場環境等の整備に十分な対応を図っていただきたい。

なお、予算執行については、各会計ともしっかりと市民が納得いく予算執行を要請しました。